

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	コンサートプロダクト3
科目基礎情報				
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	イベント企画コース	開設期 前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数 270時間
単位数	9単位			授業形態 実習
教科書/教材	授業内容により資料の配布を行う。			
担当教員情報				
担当教員	田中朋子/花田通貴	実務経験の有無・職種	有・ブライダル/マネジメント	
学習目的				
<p>イベントを1から企画し制作していく中でエンタテインメント業界に必要な知識と理解を深め、社会人としての基礎力の向上をめざしていく。</p> <p>この科目を受講する学生はイベントについての企画書の作成から一般企業へのプレゼンなどを経験し、一般社会で通用する為のノウハウを学ぶ。</p> <p>また、学生が自身で企画したイベントが実際に授業として行われ達成できることにより意識向上につながることで就職活動へも大きく役に立ち、現在のエンタテインメント業界で求められる人材はどのような人なのかを理解できるようになる。</p>				
到達目標				
<p>1年次で進めてきた実習内容のクリエイティブ性の向上。それらの作業の精度を高める事とスピードアップを図り、社会に出た時に即戦力となる企画力を身に付ける。また一般企業やエンタテインメント企業との連携も図り、社会に出た時に必要な知識や技術習得を目標としています。</p> <p>さらに実習を通して人間性、社会性のさらなる向上を目指し、グループで協力し進めることで人間関係の大切さを理解する事、そして学んだ知識と経験を就職活動に活かして行く事を目標とする。</p>				
教育方法等				
授業概要	産学連携のイベント制作を増やし企業との連携を高め、そこから自ら課題を発見し、解決していける力を身につけていく。			
注意点	1年次同様に、授業後振り返りシートの記入を行う。何を身につけ、何を疑問に思ったかを必ず振り返る。 授業時数の4分の3以上出席しない者は、成績評価の対象としない。			
評価方法	種別	割合	備考	
	試験・課題	30%	イベント企画書の提出やイベントへのスケジュール管理を課題とし提出	
	小テスト	10%	イベント内容の把握、協賛企業などの理解度などのテストを実施する	
	レポート	20%	イベントの理解度や企業の理解度を高めるために実施する	
	成果発表 (口頭・実技)	40%	実習時間にて行われる企画のプレゼン内容や積極的な授業への参加、授業態度により評価する	
	平常点	0%		
授業計画 (1回～15回)				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	イベント研究①	1年次に授業内で行ったイベントの振り返り		
2回	イベント研究②	企業の行うイベントについての内容や進行方法を研究する		
3回	イベント研究③	アーティストが行うイベントを題材にして、より実践的な内容の研究		
4回	グッズ制作とマーケティング①	企業の作るグッズを研究し、その題材の顧客層を探る		
5回	グッズ制作とマーケティング②	フェスや大型イベントでのグッズの販売方法や手法を学ぶ		
6回	イベントグッズの作成方法	グッズが作られるスケジュール感や工程を学ぶ		
7回	体育祭イベント 企画立案	体育祭イベントでのブース運営を企画し、スケジュールを企画していく		
8回	体育祭イベント 企画運営準備	体育祭イベントでのブース運営準備を進めて行き、本番に向けて調整		
9回	体育祭イベント 企画運営	体育祭イベント本番にてブースを運営し、作業工程を理解する		
10回	サマーイベント企画立案	サマーイベントでの企画を立て、企画書を作成する		
11回	プレゼンテーション実施	サマーイベントでの企画を企画書に落とし込み、授業内にてプレゼンテーションを行う		
12回	サマーイベント 運営準備①	サマーイベントでの内容の準備を進め、制作を進める		
13回	サマーイベント 運営準備②	サマーイベントでの内容の準備を進め、本番に向けての会議や進行の確認を行う		
14回	サマーイベント 運営	サマーイベント本番日の運営を行い、工程を理解する		
15回	サマーイベント 振り返り	サマーイベントを振り返り、反省点をまとめて報告書に落とし込む		